

科目名		理学療法評価学実習Ⅰ		授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

評価学で身に付いた評価ツールを用い、各疾患を評価していく。さらに疾患の特性に応じた統合と解釈を練習する。発表と討論の形式で実技を進めていく。

〔授業全体の内容の概要〕

疾患に応じた評価項目の選択から統合と解釈まで、グループで展開していく。理学療法評価学Ⅰ・Ⅱで身に付いた正常者への評価方法から疾患別に評価方法を選択し、疾患別の障害像にあった主要評価方法を練習する。仮説に基づいた統合と解釈を練習する。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

- ①各疾患の特性に応じた評価項目が選択できる ②選択した項目を客観的な評価ができる
③評価の結果得たデータを選別し、仮説を立てて、関連性を結びつけて統合作業を行い、解釈ができる

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	姿勢の分析
3	変形性膝関節症
4	変形性膝関節症
5	変形性股関節症
6	変形性股関節症
7	大腿骨頸部骨折
8	大腿骨頸部骨折
9	関節リウマチ
10	関節リウマチ
11	糖尿病
12	糖尿病
13	脊髄損症（頸損）
14	脊髄損症
15	パーキンソン病
16	パーキンソン病
17	片麻痺（軽度）
18	片麻痺
19	片麻痺（中等度）
20	片麻痺
21	片麻痺（重度）
22	片麻痺
23	脳性麻痺（両麻痺）
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
テキストは使用せず、適宜資料を配布する		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記テストを行い評価する。
